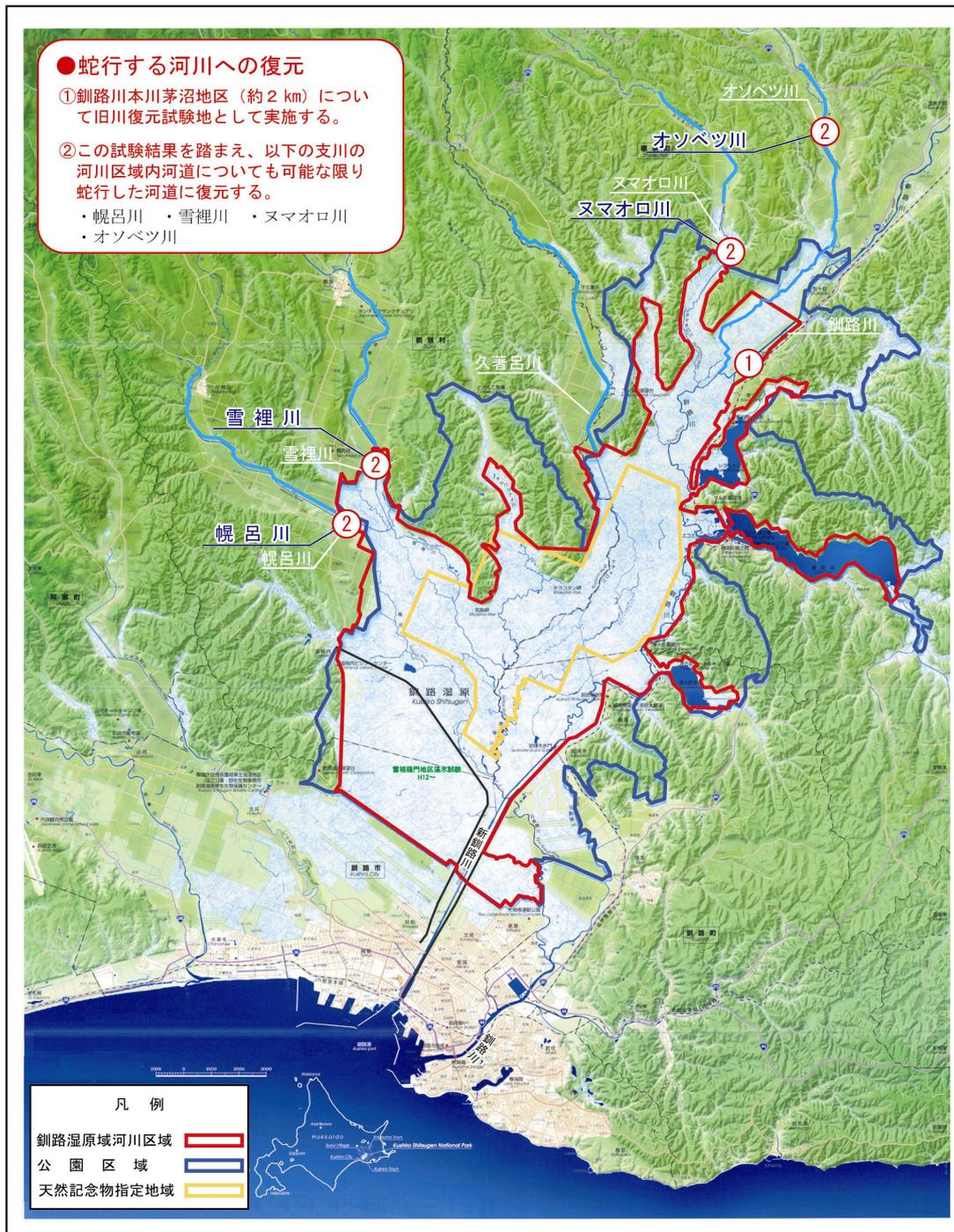


1. 釧路湿原の旧川復元計画について

1-1 提言・施策当時における旧川復元の構想

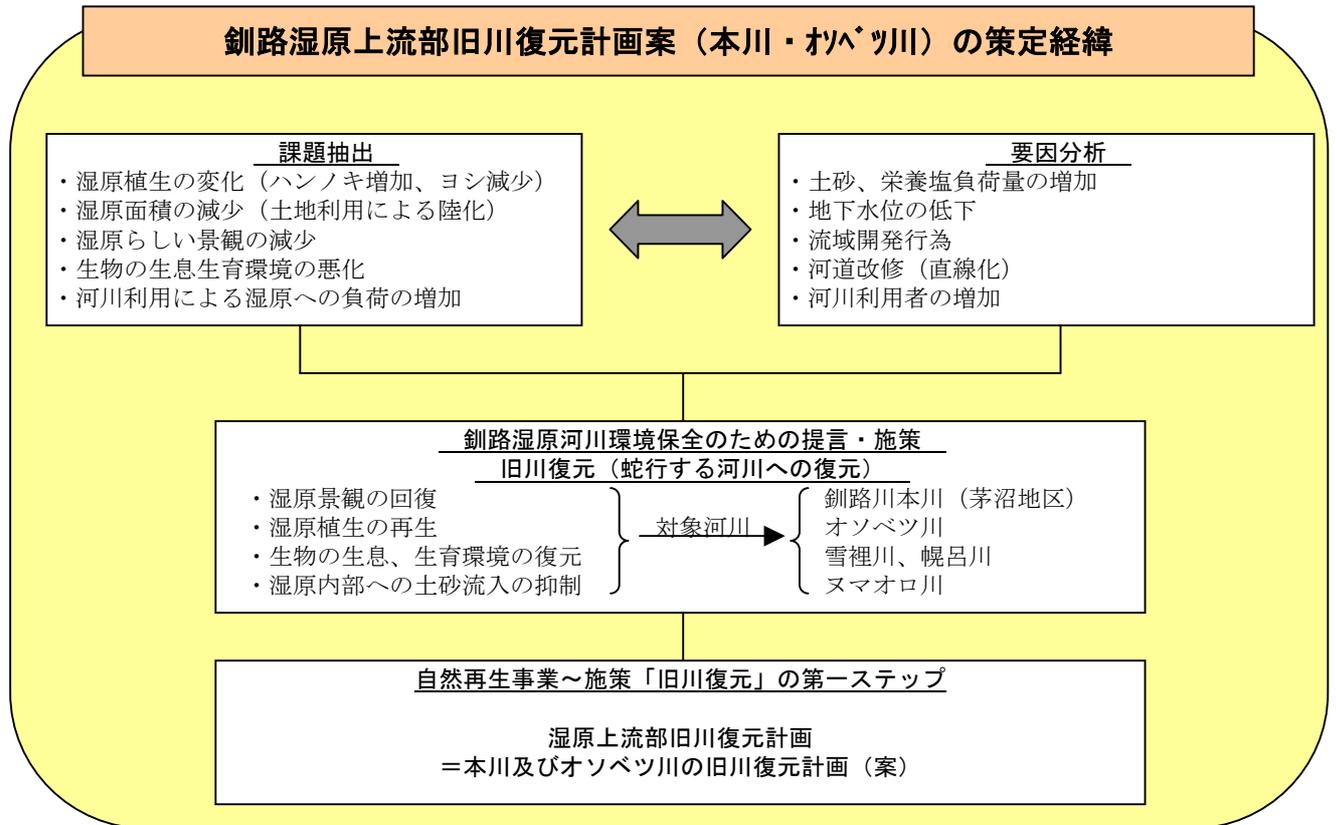
「釧路湿原の河川環境保全に関する検討委員会」では、旧川復元の実施箇所として本川茅沼地区、オソベツ川、幌呂川、雪裡川、ヌマオロ川の5箇所を計画した。

この内、試験を兼ねた先行河川に本川茅沼地区を選定し、実施に向けての各種調査・検討を行ってきた。



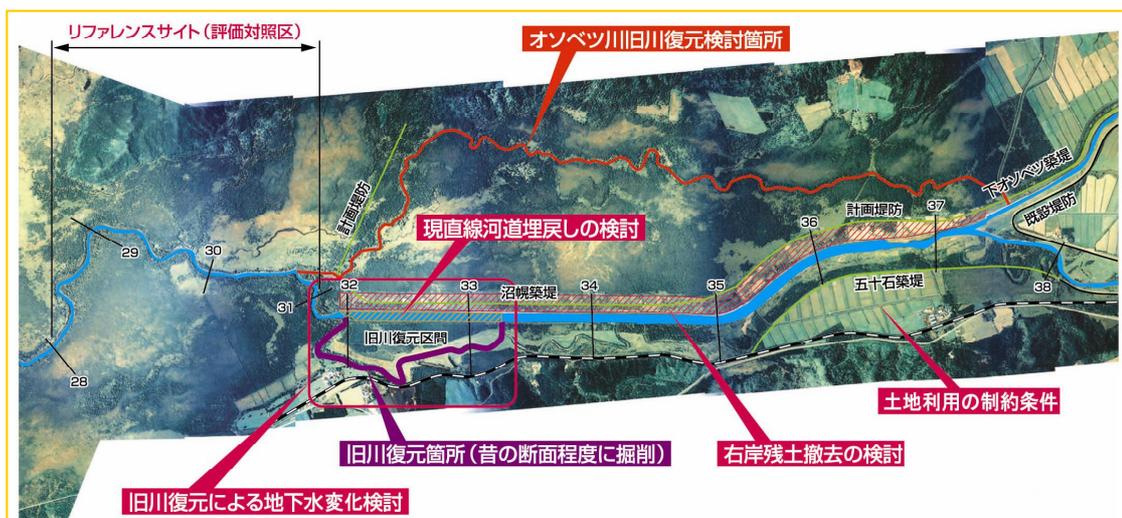
「基図は北海道地図株式会社作成の『釧路湿原国立公園』を使用」

1-2 釧路湿原上流部旧川復元計画案（本川・オソベツ川）の策定経緯



1-3 提言・施策の時点での旧川復元実施計画について

オソベツ川の復元を含む、本地域全体の湿原環境保全を目指した「上流部旧川復元計画案（本川・オソベツ川）」に対し、社会活動に対する影響の生じない「当面の案」＝「茅沼地区旧川復元計画」を実施計画として設定している。



⇨ 旧河道の大部分が昔の姿に近い形で残っている茅沼地区を先行河川として実施し、その結果を基にその他の河川の旧川復元を段階的に行うこととした。

釧路川旧川復元計画（当面の実施計画）に関する調査・検討の構成

基礎情報の調査・把握

- ・環境情報（動植物、生態系、貴重種）
- ・河川情報（水理水文、地形・物理情報、底質、地下水位）
- ・社会環境（改修経緯及び計画、土地利用現況及び計画）

↓

河川環境情報図、河川環境類型区分、既定計画情報

目標設定（リファレンスサイト調査）

- ・河川及び周辺の湿原景観
- ・環境情報（立地環境、土壌、植生、魚類）
- ・河川情報（地形・物理情報、底質、地下水位）

旧川復元河道計画

- ・縦横断、平面線形の設定
→地質構造、底質、当時の河道データ、河畔林樹齢
- ・直線河道処理（周辺地下水位変化）
→埋戻し、河跡湖化の検討
- ・右岸残土処理（除去）
- ・上流農地への水位上昇影響チェック
- ・旧川河岸処理、流出土砂対策、JR線防護
- ・旧川切り替え～分合流部のデザイン

旧川復元施工計画

（知見、基礎情報を H15 試験施工で取得）

- ・旧川掘削工法
→通常工法、水中掘削、浚渫、冬季施工、騒音振動
- ・掘削残土処理
→脱水運搬、土捨て場
- ・工事用道路
→基本レイアウト、雪道の有効性
- ・現況自然環境への配慮
- ・全体施工計画、仮設備計画の検討（河道計画待ち）

湿原上流部
旧川復元計画（案）
【本川・オソベツ川】



当面の実施計画
＝
茅沼地区旧川復元

アカウンタビリティ

- ・自然再生協議会
- ・地元意見交換会
- ・HP 情報公開、現地見学会（試験調査）
- ・シンポジウム

施策効果の予測

- ① 氾濫・冠水頻度（2次元氾濫解析清水モデル）
→地下水位の応答変化（3次元非定常地下水解析）
→植生の応答、変化＝湿原植生の再生
- ② 氾濫・土砂移動（2次元氾濫解析清水モデル）
→下流湿原内部への浮遊砂流下の軽減
- ③ 旧川＝蛇行する河川への復元（フォトモニター）
→湿原らしい景観の回復
- ④ 旧川＝蛇行する河川への復元（水理、流況、カバー等）
→生物の生息生育環境復元（指標設定が課題）

※斜体：予測の定量化が H16 以降の課題

施策効果の評価

- ・フォトモニターによる想定景観をリファレンスサイトと対比
- ・リファレンスサイトとの河川環境諸元の対比
- ・浮遊砂捕捉量
- ・地下水位変化（相対的地下水位の上昇）
→湿地的環境の面積
→湿原植生再生の応答
- ・生物生息生育環境の向上（指標設定が課題）

※斜体：H16 定量的予測結果を受けて評価